



廃炉と環境回復 つなぐ未来へ

PROGRAM

■基調報告 ■招待講演・個別セッション

1. 環境回復

10:30～

福島第一原子力発電所事故以降に
おける環境回復の歩み



2. 燃料デブリ

13:00～

燃料デブリに関する最新の研究開発
成果やデジタル技術の活用等



3. ALPS処理水と 放射性廃棄物

15:45～

ALPS処理水の第三者分析と放射性
廃棄物に関する分析技術等



環境回復に関する ポスターセッション

11:20～13:00



無人航空機や顕微鏡も展示

これまでの取組や最近の研究成果を
紹介します。

日時

令和7年 **1月31日(金)**

10:00～16:50

会場

いわき芸術文化交流館アリオス
[中劇場]

廃炉と環境回復に関するこれまでの取組や
未来へつながる研究成果をお伝えします。

ご登録はこちら

会場とオンラインのハイブリッド開催

福島研究所 令和6報告会



後援

福島県、いわき市、楡葉町、富岡町、大熊町、いわき商工会議所、福島大学、福島工業高等専門学校、
原子力損害賠償・廃炉等支援機構、国際廃炉研究開発機構、国立環境研究所、福島国際研究教育機構



国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 福島廃炉安全工学研究所

TEL / 0246-35-7650 FAX / 0246-24-4031

https://fukushima.jaea.go.jp/info/R6_fukushima-hokokukai.html

福島廃炉安全工学研究所について

組織目標

福島廃炉安全工学研究所では、科学的な根拠に基づいた研究成果を廃炉の現場に実装することを目標とし、福島の実環境回復や福島第一原子力発電所の廃炉への確実な進捗と安全性確保に向けた研究開発に取り組んでいます。

「常に安全を最優先する」ことを大前提とし、「技術の向上と革新」、「地域社会との連携強化」、「持続可能な未来の実現」を目指し、地域や国民の皆さまの安全・安心に貢献します。

令和6年4月1日に福島研究開発部門から福島廃炉安全工学研究所へガバナンス強化を目的とした組織改正を行いました。



所長 宮本 泰明

研究開発拠点

福島県内5ヶ所にて様々な研究開発を展開しています。
また、茨城地区の拠点とも連携しています。

廃炉環境国際共同研究センター (CLADS)

- 環境モニタリングとマッピング技術開発等 (環境回復)

【南相馬市】



福島第一原子力発電所

廃炉環境国際共同研究センター (CLADS)

- 放射性物質の挙動を把握する環境動態研究等 (環境回復)

【三春町】



いわき事務所

大熊分析・研究センター

- 放射性廃棄物や燃料デブリの分析と研究
- ALPS処理水の第三者分析

【大熊町】



廃炉環境国際共同研究センター (CLADS)

- 国内外の英知を結集した廃止措置等の研究開発

【富岡町】



櫛葉遠隔技術開発センター (NARREC)

- ロボット等の遠隔操作機器開発
- 施設供用

【櫛葉町】



福島廃炉安全工学研究所の研究開発についてWebページで紹介しております。



燃料デブリ分析に向けた取組

福島第一原子力発電所から取り出される燃料デブリの分析などJAEAの取組はこちらから。

<https://fukushima.jaea.go.jp/debris/>



ALPS処理水の第三者分析

客観性や透明性確保の観点から、東京電力HDとは独立した第三者機関として実施している分析の結果や方法ははこちらから。

<https://fukushima.jaea.go.jp/okuma/alps/index.html>



福島総合環境情報サイト (フェイス)

福島の実環境中の放射線について不安なことを知りたいなあ
研究や教育のための資料や放射線データはないかなあ

FaCE!S が総合的に答えます!



FaCE!S
福島総合環境情報サイト[フェイス]



<https://fukushima.jaea.go.jp/ceis/>



JAEAは「ひとつ、ひとつ、実現するふくしま」の広報隊としても活動しています。